

今月の一言

キーワード：プレーヤーという働き方

人間にあってA Iにないのは、主体性です。自分が何をしたいのか。何になりたいかという意味、目的です。今後、人間は機械にできない、あるいは機械が苦手な仕事、機械と共同してやることによって価値が高まるような仕事を行うことになるでしょう。

現時点で今ある仕事をすべて挙げてみて「将来も人間が担うのはこういう仕事だ」と具体的に示すことはなかなか難しいのですが、逆に「よくある仕事のうち、どの部分が機械やA Iに置き換わってしまうのか」という研究はたくさんあるので、それ以外の部分ということになります。たとえば自動運転ができるA Iが出てくれば、車を使う仕事にドライバーがいらなくなります。会計事務所・医療事務・データ分析の仕事、そういったものもA Iが肩代わりできる部分が多いでしょう。

そう考えるとかなりの仕事が機械に代替されると考えられますが、そのときはそれに代わる形で人間にしかできない仕事が生まれてくるのではないかと思います。将来はそのニーズに対応できるプレーヤーが求められてくるのです。

技術革新がもたらす変化の本質は、今ある仕事が機械に置き換わるかどうかという問題ではありません。それは一日24時間の労働と余暇の配分を変え、その過ごし方も変えてしまいます強烈なインパクトを持っています。人間の生き方に及ぶダイナミックなものと考えられるでしょう。

著書：伊藤元重が警告する日本の未来 著者：伊藤元重

A IとIoT革命

2017年9月25日

さいのう とおる

追伸：季節の変わり目、食欲の秋！体調管理に十分注意してください。